



し せ い 至 誠

種子島中央高等学校
生徒指導部だより
令和2年度第2号
令和2年7月20日発行

1 一学期を振り返って

百年に一度と言われる「パンデミック」に遭遇してしまった私たち。コロナ禍の中でスタートした令和2年度の一学期が終わります。様々な制約がある中で始まった学校でしたが、みなさんにとってどんな一学期だったでしょうか。何と言っても、部活動をしている生徒のみなさんにとっては、県総体の中止は本当に辛いものでした。しかし、そのような中出された高体連会長からの「高校総体は自己の可能性への挑戦の場であり、命を賭ける冒険の場ではない。」というメッセージは心に刺さりました。

これから私たちはコロナウイルスと共生していかなければなりません。しかし、コロナと共生することが当たり前の日常になるまでは、まだまだ時間がかかりそうです。ということは、我慢しなければならないことが出てくるのはもちろんですが、高校総体のようにあきらめなければならないことも出てくるかもしれません。そんな時、「今しかないのに」という思いになってしまうのは当然です。確かに、高校生活は一生に一度しかないもので、かけがえのないものです。しかし、誰のせいでもなく、自分自身の努力ではどうしようもないこのコロナを前に、ただ不運だと嘆いていても仕方ありません。「こんな時だからこそ」できることに目を向け、逆にコロナ禍の中で、みなさんが新たな高校の在り方を創造してください。二学期は様々な学校行事もあります。「例年通り」ではうまくいかないことは見えています。「コロナのせいで、例年通りの行事ができなかった」と嘆くのではなく「コロナがあったけど、だからこそ新たな行事の形を作り上げた」となれば…。新たに創造することほど楽しくワクワクすることはないはずです。



アマビエ

2 夏休みの心得

- 1 規則正しい生活や健康管理に心がけること。歯科治療の必要な生徒は夏休みに！
- 2 アルバイトは必ず許可を受けること。無許可や夜間アルバイトは禁止。
- 3 遊泳禁止場所への立ち入りや危険箇所への立ち入りをしないこと。
- 4 スマートフォン等によるインターネットやSNS等の不適切な利用はしないこと。
①情報公開には細心の注意を払うこと。 ②知らない人からの連絡に返信しないこと。
③個人情報を書き込まないこと。 ④使いすぎに注意すること。午後10時電源OFF。
- 5 無断外泊や夜間徘徊、深夜徘徊、問題行動（喫煙・飲酒等）をしないこと。
- 6 交通マナー・ルールを守ること。
- 7 男女交際は自分も相手も大切にすること。
- 8 コロナウイルス感染拡大防止に努めること。多くの人が集まるイベントや、県内外のオープンキャンパスなどへの参加の際は十分に準備し、体調を整えておくこと。また、参加の際は手洗いや消毒などをしっかりし、感染予防すること。

3 緊急連絡先

万が一、事故や問題が発生した際は直ちに連絡を！

電話番号	学校 担任	0997	—	24	—	2401
------	----------	------	---	----	---	------

4 夏休み明けの行事予定

8月24日（月）～ 8月27日（木）	授業日
9月1日（火）	始業式・大掃除（体育服準備） <u>頭髮服装指導←いつもよりワンランク上の身だしなみで！</u> 体育祭練習・文化祭準備

“Be safe.”

皆さんは、毎日家を出るとき、どんな言葉を残して家を出ていますか？また、皆さんの家族は、どんな言葉をかけてくれますか？私は必ず、“Be safe.”という言葉子ども達にかけています。交通事故に遭わないように、怪我をしないように、病気にかからないように、いろいろな思いをこの一言に込めています。また、スクーターで学校に通う息子には、学校に遅れてもいいから、決して慌てて運転をしないように、とも声かけをしています。

学校には様々な校則があり、校則違反の種類によってはいろいろな指導を伴うことがあります。その指導のなかで、「次からは気をつけるように。」といった言葉をかけられることも多いと思います。しかし、交通事故には「次」のチャンスがありません。事故で、体が不自由になってしまったり、命を落としてしまったりした後は、事故以前の状態に戻ることはできません。自分が交通事故の被害者であっても、加害者であっても同じことです。皆さんには、これから可能性にあふれた未来が待っています。交通事故によって、皆さんの人生設計が狂ってしまうことがないよう、交通安全には十分気をつけて毎日過ごしましょう。

さて、夏休みに入り、気持ちが開放的になり、バイクでいろいろな場所に遊びに出かけたり、帰省してきた先輩方の運転する乗用車で出かけたりすることもあるかもしれません。しかし、皆さんがバイクの免許を取得できたのは、あくまでも通学用として許可されたからです。先輩方の運転もまだ慣れないところがあると思います。まずは自らの「命」を守ることを優先して行動するようにしましょう。

